

テーマ「水田農業の確立と農協の課題」

平成14年12月の米政策改革により「米づくりの本来あるべき姿」が示され、「需給に即応した米づくりの推進を通じて水田農業経営の安定と発展」を目指して「水田農業政策・米政策の大転換」が図られました。しかし、その後の経過をみると、米の需給不均衡はむしろ拡大し、米価の下落が促進されています。産地では稲作経営存続の危機が叫ばれ、水田の利用率も悪化し供給力が低下する傾向が見られます。

このため、昨年11月、米緊急対策が決定され、その後品目横断的経営安定対策が「水田・畑作経営所得安定対策」と変更されるなど、農政改革の見直しが行われました。現在、こうした状況のなかで、米対策の取組みが全国で進められているところです。

近年、世界の食糧需給は逼迫基調を強め、多くの国が農産物の輸出を規制し、在庫の減少により国際価格が上昇しています。これは、食料自給率の低いわが国にとって大変な問題であり、国民の食料を安定的に供給していくためにも、水田農業の現状を改革し確立することが必要で、農協にもその取組みが期待されています。

このシンポジウムでは、研究者の報告にくわえて、果敢な取組みを進めておられる2つのJA等からその現状をご報告いただき、これらの課題について討論を進めたいと思います。多数の皆さんのご参加を心より期待しています。

シンポジウム「水田農業の確立と農協の課題」

日時：2008年4月26日(土)午後1時30分～4時30分

場所：東京大学弥生講堂(東京都文京区弥生1-1-1)

参加費：無料

研究会終了後、懇親会(会費5,000円)を開催します。どうぞご参加ください。



東京農工大学名誉教授
梶井 功氏

司会・解題



佐賀県農業協同組合
中央会会長、JAさが会長
中野 吉實氏

報告③

「農家経営安定に向けた佐賀県水田農業の取り組み」



JA庄内みどり
代表理事組合長
阿部 茂昭氏

報告②

「新たな水田農業の展開と販売戦略」



東北大学大学院
農学研究科教授
工藤 昭彦氏

報告①

「農地政策改革と農協の役割―水田を中心に―」

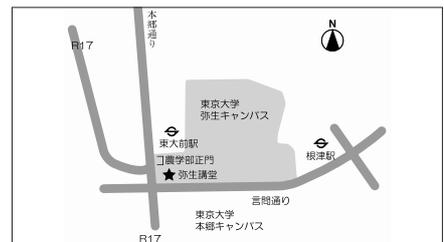
東京大学 弥生講堂

東京都文京区弥生1-1-1(東京大学構内)

交通

東京メトロ 南北線「東大前」駅徒歩1分

千代田線「根津」駅徒歩8分



お問い合わせ先 農業協同組合研究会事務局

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-1-15藤野ビル4F(社)農協協会内

電話:03-3639-1121

FAX:03-3639-1120

Eメール: info@jacom.or.jp